



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社) 上場取引所 東  
 コード番号 5976 URL https://www.k-neturen.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 大宮 克己  
 問合せ先責任者(役職名) 管理本部経理部長(氏名) 篠原 秀明 (TEL) 03-3443-5441  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( )

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	13,962	0.3	270	△60.3	560	△45.8	276	△52.6
2023年3月期第1四半期	13,922	17.9	682	△25.3	1,033	△3.7	583	△12.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 838百万円(△61.2%) 2023年3月期第1四半期 2,161百万円(36.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	7.37	—
2023年3月期第1四半期	14.73	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	78,179	65,396	75.7
2023年3月期	79,888	66,549	74.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 59,151百万円 2023年3月期 59,394百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	24.00	—	24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	11.3	1,000	△28.2	1,200	△40.9	800	△34.5	21.22
通期	63,000	9.5	2,800	16.8	3,300	6.9	2,000	424.2	53.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	38,678,700株	2023年3月期	38,678,700株
2024年3月期1Q	1,416,027株	2023年3月期	970,011株
2024年3月期1Q	37,521,527株	2023年3月期1Q	39,631,504株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国及び世界の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されるなど経済活動の正常化が進みました。しかし、ウクライナ紛争の長期化や原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、世界的な金融引締めが景気や為替相場に及ぼす影響などが懸念され、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、3ヵ年計画の最終年度を迎える第15次中期経営計画「Change !! New NETUREN 2023」(2021年4月より2024年3月まで)に掲げた基本方針である、

- ①コア事業の更なる競争力強化、新技術・新商品・新規事業の市場投入で利益基盤を確立
- ②N-DX体制の構築によるデジタル化の促進で、情報展開力を向上
- ③SDGsを経営の中心に据え、CO2削減を推進し持続可能な社会づくりに貢献
- ④グローバルにグループ営業力、マーケティング力の強化を担う人財の輩出

を推進することにより、企業価値の向上を図ってまいりました。

また、受注の確保に全力を注ぐとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況下で培ってきた原価低減方策をより一層推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,962百万円(前年同期比0.3%増)、主として売上構成の変化や中国における受注の伸び悩み、さらに、電力費などのコストが増加したことなどにより、営業利益は270百万円(前年同期比60.3%減)、経常利益は560百万円(前年同期比45.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は276百万円(前年同期比52.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 製品事業部関連事業

土木・建築関連製品の売上高は、鋼材や電力など高騰したコストの販売価格への転嫁を進めているものの、人手不足等に伴う工事の遅れなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。自動車関連製品の売上高は、中国では主要顧客の生産量が減少した影響により販売量が低調であったものの、日本、米国及び欧州の販売量は堅調に推移し、前年同期と比較し増加いたしました。建設機械関連製品の売上高は、主に国内での販売量が低下したことにより、前年同期と比較し減少いたしました。

この結果、売上高は8,859百万円(前年同期比0.7%減)、売上構成の変化に加えて、土木・建築関連製品や建設機械関連製品の販売量が減少したことによる固定費負担増などにより、営業損失は34百万円(前年同期は201百万円の営業利益)となりました。

#### ② IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連の売上高は、建設機械業界からの受注は大型機種を中心に比較的堅調に推移いたしました。低迷している自動車関連業界からの受注は、顧客の在庫調整や部品不足解消の兆しが見られるものの、本格的な回復には至りませんでした。さらに、工作機械業界からの受注も顧客の在庫調整により低調に推移したため、前年同期と比較し減少いたしました。誘導加熱装置関連の売上高は、受注は堅調に推移しており、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は5,067百万円(前年同期比2.0%増)、中国における受注の伸び悩み、資材や電力費などのコスト増の影響などにより、営業利益は288百万円(前年同期比37.9%減)となりました。

#### ③ その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は34百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は15百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は78,179百万円(前連結会計年度末比2.1%減)となりました。この主な要因は、現金及び預金が減少したことなどによりです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は12,782百万円(前連結会計年度末比4.2%減)となりました。この主な要因は、短期借入金が増加したことなどによりです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は65,396百万円(前連結会計年度末比1.7%減)となりました。この主な要因は、積極的な自己株式取得を実施したことなどによりです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、「2023年3月期決算短信」(2023年5月11日)公表時点から修正は行っておりません。

なお、予測数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,320	15,689
受取手形、売掛金及び契約資産	11,646	11,526
電子記録債権	3,364	3,954
有価証券	158	154
商品及び製品	1,459	1,323
仕掛品	1,877	2,260
原材料及び貯蔵品	3,547	2,964
その他	2,198	2,550
貸倒引当金	△189	△188
流動資産合計	42,383	40,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,093	8,154
機械装置及び運搬具（純額）	6,225	6,471
土地	9,890	9,905
建設仮勘定	560	704
その他（純額）	717	697
有形固定資産合計	25,486	25,932
無形固定資産		
借地権	691	708
その他	113	102
無形固定資産合計	805	810
投資その他の資産		
投資有価証券	9,809	9,791
長期貸付金	18	19
退職給付に係る資産	3	-
その他	1,523	1,504
貸倒引当金	△141	△114
投資その他の資産合計	11,212	11,200
固定資産合計	37,504	37,944
資産合計	79,888	78,179

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,913	3,858
電子記録債務	3,367	3,328
短期借入金	1,262	684
未払法人税等	172	99
賞与引当金	558	378
役員賞与引当金	12	16
役員株式給付引当金	8	13
その他	2,501	2,772
流動負債合計	11,797	11,152
固定負債		
長期借入金	138	131
役員株式給付引当金	6	16
退職給付に係る負債	362	354
その他	1,033	1,127
固定負債合計	1,540	1,630
負債合計	13,338	12,782
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	1,627	1,725
利益剰余金	47,639	47,348
自己株式	△688	△1,093
株主資本合計	54,997	54,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	1,985
為替換算調整勘定	2,361	2,608
退職給付に係る調整累計額	167	160
その他の包括利益累計額合計	4,397	4,753
非支配株主持分	7,155	6,245
純資産合計	66,549	65,396
負債純資産合計	79,888	78,179

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	13,922	13,962
売上原価	11,298	11,661
売上総利益	2,624	2,300
販売費及び一般管理費	1,942	2,029
営業利益	682	270
営業外収益		
受取利息	18	10
受取配当金	62	128
持分法による投資利益	46	37
為替差益	176	41
その他	61	87
営業外収益合計	364	305
営業外費用		
支払利息	11	14
その他	2	2
営業外費用合計	13	16
経常利益	1,033	560
特別利益		
固定資産売却益	0	11
投資有価証券売却益	0	13
受取保険金	-	6
その他	-	0
特別利益合計	0	31
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	1,031	590
法人税等	317	222
四半期純利益	714	367
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	583	276
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	135
為替換算調整勘定	1,244	424
退職給付に係る調整額	△3	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	215	△82
その他の包括利益合計	1,446	470
四半期包括利益	2,161	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,627	633
非支配株主に係る四半期包括利益	533	205



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,917	4,970	13,888	34	13,922
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	10	10	—	10
計	8,917	4,980	13,898	34	13,933
セグメント利益	201	465	666	14	680

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	666
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	682

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	製品事業部 関連事業	I H事業部 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,859	5,067	13,927	34	13,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3	3	—	3
計	8,859	5,071	13,930	34	13,965
セグメント利益又は損失(△)	△34	288	254	15	269

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	254
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	270

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。